

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	神奈川県
	(レ)

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	鎌倉市立稲村ヶ崎小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	1	1	1	1	1	0	7	13
児童数	46	40	38	34	37	22		217	

研究の概要

1. 研究主題

個に応じた指導の工夫・改善～算数科の少人数指導をとおして

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

1～5年：算数科(学校として、当該教科に関する研究実績があるため)

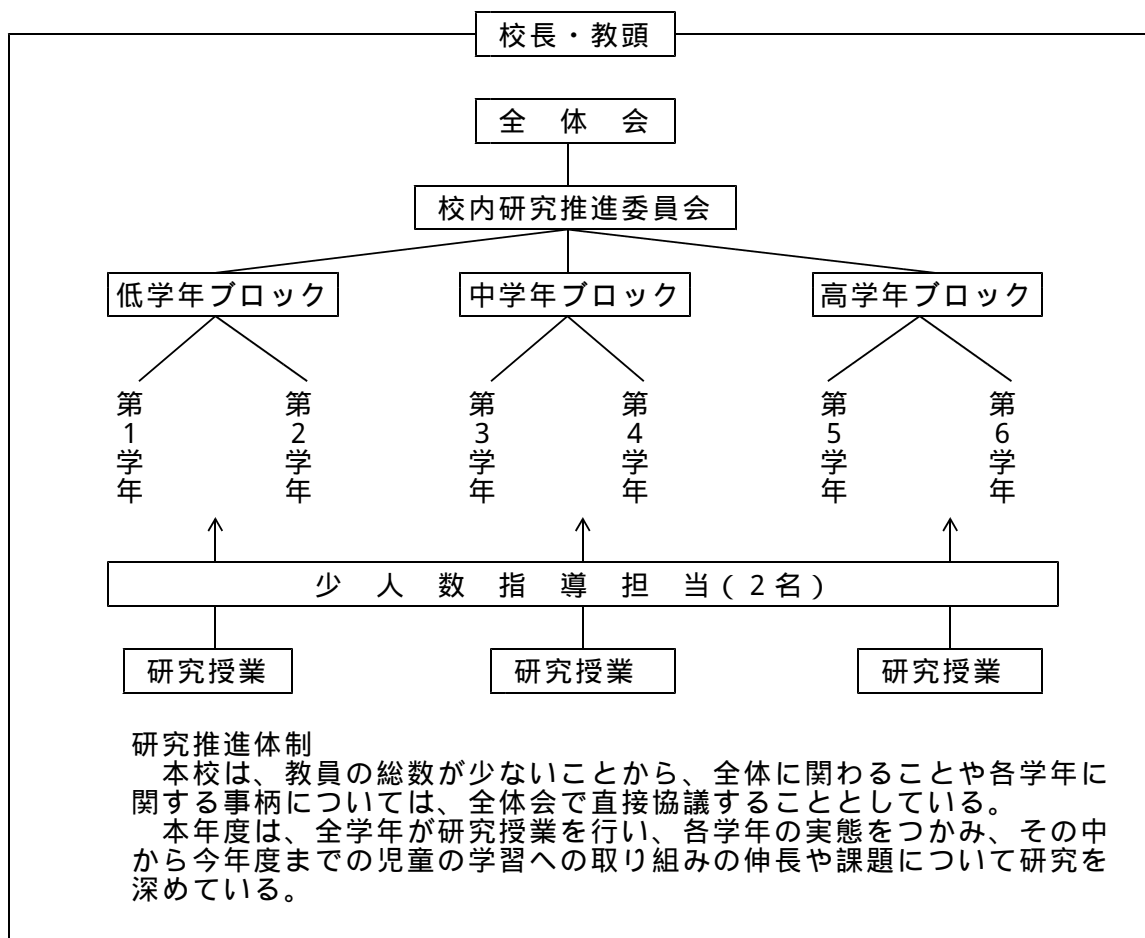
(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> 算数科における個に応じた効果的な指導方法や指導体制について <p>研究の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の実態や興味・関心を探り、個に応じた効果的な指導を行うことにより、よりきめ細やかな指導が可能になる。 <p>研究内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の一人ひとりの理解度・習熟の程度に応じた指導を充実させるために学習カルテを作成する。 多くの児童がつまずきやすいポイントを明確にして、児童に定着させたい指導の重点を設定する。
--------	---

平成15年度	<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> 算数科における個に応じた効果的な指導方法や指導体制について <p>研究の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の実態や興味・関心を生かしたきめ細やかな指導を行うことにより、児童が意欲的に学習に取り組むことができ、基礎・基本の確実な定着を図ることが可能となる。 <p>研究内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童に定着させたい指導の重点を基に、効果的な指導に向けた教材の開発をする。 児童理解度のチェック及び個に応じた指導方法について研究をする。 隣接した少人数教室を有効に活用する方法について研究する。 <p>* 少人数指導の取り組みにより、児童に進んで学習する意欲が育ってきた。</p>
--------	--

平成16年度	<p>テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> 算数科における個に応じた効果的な指導方法や指導体制について <p>研究の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の実態や興味・関心を生かしたきめ細やかな指導を行うことにより、児童が意欲を高め、より確かな学力の向上を図ることが可能となる。 <p>研究内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童が自ら考え、主体的に学習するための教材の開発をする。 児童の一人ひとりの理解度・習熟度に見合った指導や学力の評価を生かした指導の進め方について実践研究する。 実践や研究を深め、成果と課題等をまとめ研究発表会を行う。
--------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

児童の学習に取り組む姿勢が確実に変化している。

- ・集中して取り組む態度が見えてきた。
- ・分からないときに質問しようという姿勢が見られる。
- ・主体的に学習しようという意欲が見られる。

個別指導の充実により、少人数指導の手応えを感じている。

- ・一人ひとりの進み具合に合わせて指導することができる。
- ・理解が困難な児童を見つけやすいし、手立てを取りやすい。
- ・児童の課題に対する考え方のプロセスが分かり、指導しやすい。
- ・一人ひとりの意見を取り上げることができる。

算数科での指導方法の工夫・改善を行うことで、他教科の指導への工夫・改善のヒントを探ることができ、実践研究を深めることができる。

2. 今後の課題

- ・児童の学習状況・伸長を客観的にとらえるためのデータ作成とそれを活用した学習カルテの充実
- ・指導形態の工夫として、幅広い学年での習熟の程度に応じたグループによる取り組み
- ・よりきめ細かな指導の充実を図るため、ブロックでのスキル学習の取り組み
- ・学習評価の検証と見直し
基礎・基本の定着と確かな学力の向上を目指して課題を整理・解決しながら、今後の研究を進めていきたい。

学力等把握のための学校としての取り組み

- ・県学習状況調査 5学年で実施
- ・標準学力検査(CRT) 1年～5年算数で実施
- ・平成13年度小学校教育課程実施状況調査で出題された問題と正答率の活用

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

リーフレットの作成と配布

学力向上フロンティアスクール公開授業並びに研究会

[第1回]

- 期日 平成15年2月4日(火)
- 場所 鎌倉市立稲村ヶ崎小学校
- 対象 県内公立小・中学校教員及び県内関係教育機関
- 目的 「個に応じた指導の工夫と改善～算数科の少人数指導を通して」をテーマに研究成果の普及と今後の研究の進展のために授業を公開し、研究協議する。

[第2回]

- 期日 平成16年2月5日(木)
- 場所 鎌倉市立稲村ヶ崎小学校
- 対象 県内公立小・中学校教員及び県内関係教育機関
- 目的 「個に応じた指導の工夫と改善～算数科の少人数指導を通して」をテーマに研究成果の普及と今後の研究の進展のために授業を公開し、研究協議する。

- * 他地域からの研究視察については、積極的に授業を公開し、本校の研究について説明及び質疑応答をする。本年度は、他県からの視察依頼を多く受けている。
 - 6月...石川県羽咋郡土田小学校
 - 茨城県水海道市公立小学校教頭会 - 第4学年の授業
 - 11月...岩手県紫波町教育委員会並びに公立小中学校長会 - 2年の授業

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無